

nissin shoji

every day is a new day.

中間報告書 77期

2020.4.1 — 2020.9.30

- P01: 株主の皆様へ
- P02: 財務ハイライト(連結)
- P03: 営業の概況
- P04: トピックス
- P05: 連結財務諸表
- P06: 会社概要



代表取締役社長 筒井 博昭

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ここに当社第77期上半期(2020年4月1日から2020年9月30日まで)の中間報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

わが国の経済状況

当上半期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、企業収益が大幅に減少した一方、経済活動の再開と政府による感染症対策の推進等により、個人消費は一部持ち直しがみられました。しかしながら、企業の業績や雇用情勢等における厳しさは残っており、企業を取り巻く経営環境の先行きは依然として不透明な状況が続いています。

石油製品販売業界の状況

石油製品販売業界におきましては、原油価格は米経済指標が相次いで良好となったこと等から景気回復への期待が高まり上昇した後、原油需要の回復が遅れるとの見方が強まり前年同期を下回りました。国内石油製品価格は原油価格の影響により軟調に推移しました。国内石油製品需要は、新型コロナウイルス感染症の影響によるガソリン、軽油の需要低下等により、全体として前年同期を大幅に下回りました。

業績について

このような状況下、当上半期の当社グループ業績は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて主に石油関連事業全体で販売価格が下がったことや販売数量が減少したこと等により、売上高は減収となりました。また、石油関連事業において製品市況の動向等により、前年を上回るマージンが確保できたため、営業利益、経常利益ともに増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、川崎充填所跡地の譲渡による特別利益が発生したことにより増益となりました。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

売上高

24,888百万円 (対前年同期比20.0%減)

経常利益

555百万円 (対前年同期比219.3%増)

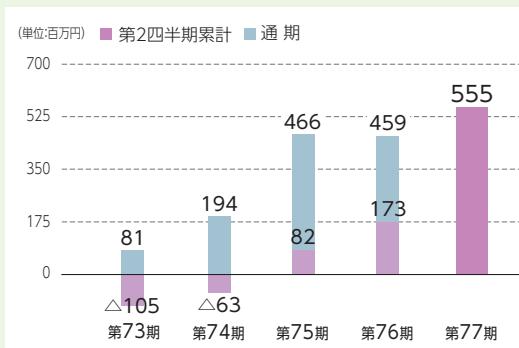
親会社株主に帰属する
四半期純利益

1,346百万円 (対前年同期比619.4%増)

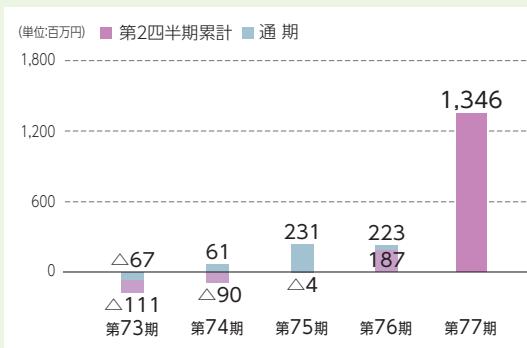
売上高



経常利益又は経常損失



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益又は四半期(当期)純損失



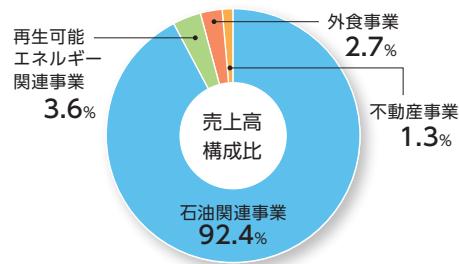
総資産 / 純資産



*会計基準の変更にに基づき、第74期の総資産を変更しております。

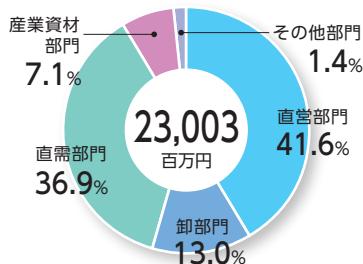
営業の概況

当上半期の当社グループ業績は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて主に石油関連事業全体で販売価格が下がったことや販売数量が減少したこと等により、売上高は24,888百万円、前年同期比20.0%の減収となりました。また、石油関連事業において製品市況の動向等により前年を上回るマージンが確保できたため、営業利益は474百万円、前年同期比354.8%の増益、経常利益は555百万円、前年同期比219.3%の増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、川崎充填所跡地の譲渡による特別利益が発生したことにより、1,346百万円、前年同期比619.4%の増益となりました。



石油関連事業

石油関連事業売上高構成比

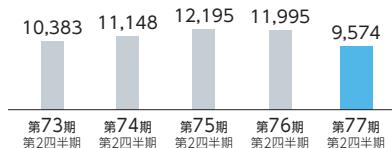


直営部門

売上高 **9,574** 百万円

他社保有1SSの運営継承を行ったものの、燃料油の販売数量の減少や販売価格の低下、またカーメンテ商材の販売の減少等により、前年同期比20.2%の減収。

売上高 (単位:百万円)

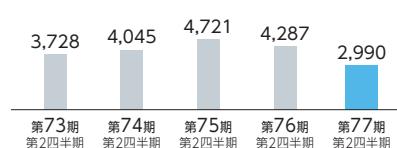


卸部門

売上高 **2,990** 百万円

販売価格の低下や、販売店2社の2SSが閉鎖したことによる販売数量の減少等により、前年同期比30.2%の減収。

売上高 (単位:百万円)

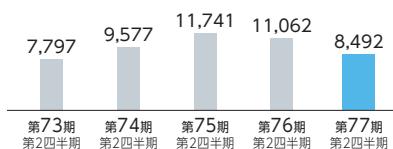


直需部門

売上高 **8,492** 百万円

法人向け燃料油カードの発券枚数増加などガソリンや軽油の販売は堅調に推移したものの、販売価格の低下等により、前年同期比23.2%の減収。

売上高 (単位:百万円)

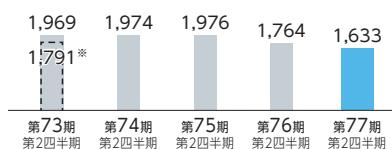


産業資材部門

売上高 **1,633** 百万円

農業資材の新規顧客開拓が寄与した一方、石油化学製品の販売数量の減少や販売価格の低下等により、前年同期比7.4%の減収。

売上高 (単位:百万円)

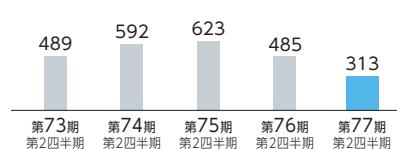


その他部門

売上高 **313** 百万円

川崎充填所の閉鎖に伴う液化石油ガスの販売数量の減少等により、前年同期比35.5%の減収。

売上高 (単位:百万円)



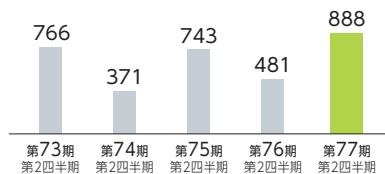
※第74期に変更した報告セグメントの区分に基づき作成した数字となります。

再生可能エネルギー
関連事業

売上高
888 百万円

太陽光発電所の販売や、バイオマス発電燃料であるPKS(Palm Kernel Shell: パーム椰子殻)の販売等により、前年同期比84.7%の増収。

売上高 (単位:百万円)



外食事業

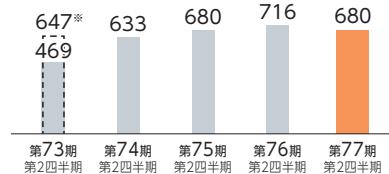
(注)



売上高
680 百万円

ケンタッキーフライドチキン店において、新たな1店舗の開店やテイクアウト需要の増加があったものの、法人向け飲料販売において商流を整理したことや、タリーズコーヒー店において外出自粛要請による休業対応をしたこと等により、前年同期比5.0%の減収。

売上高 (単位:百万円)



*第74期に変更した報告セグメントの区分に基づき作成した数字となります。

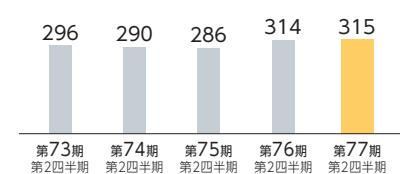
不動産事業



売上高
315 百万円

賃貸マンションの堅調な稼働等により、売上高は前年同期比0.3%の増収。

売上高 (単位:百万円)



(注) 第74期より、組織の変更に伴い、従来「石油関連事業」の「産業資材部門」に表示しておりました「飲料事業」を、「外食事業」に変更して表示しております。

TOPICS ▶ バイオマス発電燃料PKSを初出荷



2020年6月、当社会社NISSIN BIO ENERGY SDN.BHD.を通じて、マレーシア・サラワク州のピンツル港からバイオマス発電燃料であるPKS(Palm Kernel Shell:パーム椰子殻)約1万トンを出荷し、日本国内の大規模バイオマス発電所へ納入を完了しました。

NISSIN BIO ENERGY SDN.BHD.は、2018年10月にマレーシア・サラワク州ピンツルに設立し、ピンツル港近くにPKSを貯留して燃料化作業を行うストックヤード(貯蔵所)を保有しています。ストックの容量は1.5万トン規模で、現地には当社社員が常駐し、品質・供給の安定を図っています。PKS以外にEFB(Empty Fruits Bunch:パーム椰子空果房)ペレットなど、バイオマス発電燃料の現地での商業生産に向けて取り組んでおります。

四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	前期末 2020年3月31日現在	当第2四半期末 2020年9月30日現在
(資産の部)		
流動資産	12,294	13,066
固定資産	18,934	19,150
有形固定資産	12,411	12,154
無形固定資産	287	233
投資その他の資産	6,236	6,762
資産合計	31,229	32,217
(負債の部)		
流動負債	6,515	5,249
固定負債	7,143	7,790
負債合計	13,659	13,039
(純資産の部)		
株主資本	16,106	17,358
その他の包括利益累計額	1,189	1,501
非支配株主持分	274	317
純資産合計	17,570	19,177
負債及び純資産合計	31,229	32,217

四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期 2019年4月1日~2019年9月30日	当第2四半期 2020年4月1日~2020年9月30日
売上高	31,106	24,888
売上総利益	3,618	3,878
営業利益	104	474
経常利益	173	555
税金等調整前四半期純利益	266	2,007
親会社株主に帰属する四半期純利益	187	1,346

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期 2019年4月1日~2019年9月30日	当第2四半期 2020年4月1日~2020年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	580	1,167
投資活動によるキャッシュ・フロー	△267	1,463
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8	△1,191
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	△12
現金及び現金同等物の増減額	300	1,426
現金及び現金同等物の期首残高	3,332	3,410
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,633	4,837

POINT 四半期連結貸借対照表

総資産は、前期末に比べ、987百万円増加し、32,217百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が731百万円減少したものの、現金及び預金が1,271百万円、投資有価証券及び関係会社株式が438百万円増加したことなどによるものです。負債は、前期末に比べ、619百万円減少し、13,039百万円となりました。これは、未払法人税等が583百万円増加したものの、借入金が1,117百万円減少したことなどによるものです。純資産は、前期末に比べ、1,607百万円増加し、19,177百万円となりました。これは、利益剰余金が1,252百万円、その他有価証券評価差額金が311百万円増加したことなどによるものです。この結果、1株当たり純資産は前期末と比べ、232.61円増加し、2,803.88円となりました。

POINT 四半期連結損益計算書

当上半期の当社グループ業績は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて主に石油関連事業全体で販売価格が下がったことや販売数量が減少したこと等により、売上高は24,888百万円、前年同期比20.0%の減収となりました。また、石油関連事業において製品市況の動向等により前年を上回るマージンが確保できたため、営業利益は474百万円、前年同期比354.8%の増益、経常利益は555百万円、前年同期比219.3%の増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、川崎充填所の跡地を譲渡したことによる特別利益が発生したことにより、1,346百万円、前年同期比619.4%の増益となりました。

POINT 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

営業活動によるキャッシュ・フローでは、固定資産売却益の計上1,545百万円などにより資金が減少したものの、税金等調整前四半期純利益2,007百万円、売上債権の減少額648百万円などにより資金が増加いたしました。投資活動によるキャッシュ・フローでは、有形固定資産の取得による支出261百万円等により資金が減少したものの、有形固定資産の売却による収入1,701百万円などにより資金が増加いたしました。財務活動によるキャッシュ・フローでは、借入金の収入及び返済などにより資金が減少いたしました。

● 会社概要

商 号 日新商事株式会社 (NISSIN SHOJI CO., LTD.)
 設 立 1950年2月1日 (創業 1947年8月7日)
 資 本 金 36億2,400万円
 本社所在地 〒105-0023
 東京都港区芝浦一丁目12番3号 (Daiwa芝浦ビル4階)
 TEL.03-3457-6251
 従 業 員 数 392名

● 主要事業

- 一般石油製品及び副製品の販売
- 石油化学製品及びその合成樹脂製品の販売
- 液化石油ガスの製造、販売、並びにその附属品の販売
- 自動車部品及びタイヤ類の販売
- 自動車・中古自動車の修理・整備、販売業
- プラスチックの成形機械類並びにその附属品の販売
- 損害保険代理業並びに自動車損害賠償保障法に基づく保険代理業
- 飲食店業
- 不動産賃貸業
- 電解還元水整水器、カートリッジ及び電解還元水の販売
- 自動車及び自動車用品の賃貸業
- 食料品、日用雑貨品及びその他生活用品の販売並びに飲料 (清涼飲料水) の製造、販売
- 超高輝度マイクロプリズム反射素材の販売
- 電気通信事業法による通信機器販売及び電気通信サービスの加入手続きに関する代理店業務
- 電化製品及び環境対応商品等の販売
- 発電及び充電に関する事業
- 農業用資材の製造、販売

● 役 員

代表取締役社長	筒井博昭	取締役監査等委員	山添潤一
常務取締役	林 雅巳	社外取締役監査等委員	山本純一
取 締 役	走尾一隆	社外取締役監査等委員	津國伸郎
取 締 役	柴崎正典		
取 締 役	佐野浩一		
取 締 役	伊藤 真		

事業内容

石油関連事業を軸にあらゆるエネルギーの供給を社会的使命と捉え、様々なビジネス領域においてサービスを展開しています。

石油関連事業



直営部門

「ENEOS」ブランドのSSを展開



卸部門

石油製品販売店への卸販売、販売促進の支援



直需部門

基幹産業、物流分野へ石油製品販売



産業資材部門

石油化学製品を中心に多様な製品の販売



その他部門

液化石油ガスの販売



再生可能エネルギー関連事業



太陽光発電設備の機器販売及び太陽光発電による売電事業等



外食事業



ケンタッキーフライドチキン、タリーズコーヒーの運営及び飲料事業



不動産事業



オフィスビル、マンション等の賃貸事業



株式の状況 (2020年9月30日現在)

● 株式の状況

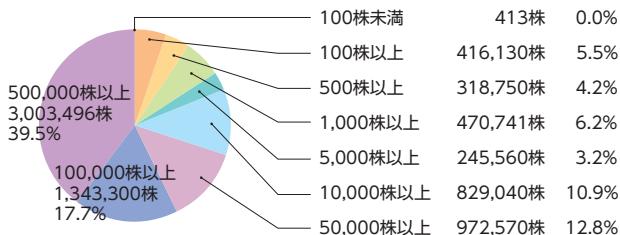
発行可能株式総数 30,400,000株
 発行済株式の総数 7,600,000株
 株主数 3,000名
(前期末比183名減)

● 大株主

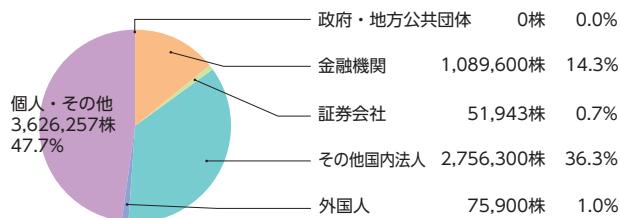
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
ENEOSホールディングス株式会社	1,140,000	16.9
株式会社日新	990,000	14.7
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	349,000	5.2
株式会社三井住友銀行	250,000	3.7
筒井 博昭	218,100	3.2
筒井 健司	192,800	2.9
筒井 敦子	117,600	1.7
ユシロ化学工業株式会社	115,800	1.7
株式会社三菱UFJ銀行	100,000	1.5
日本精化株式会社	99,000	1.5

(注) 1. 持株比率は自己株式(873,496株)を控除して計算しております。
 2. 当社は自己株式873,496株を所有していますが、上記の表には記載しておりません。

● 所有数別株式分布状況



● 所有者別株式分布状況



(注) 「50,000株以上」及び「個人・その他」株式には自己株式873,496株が含まれております。

株主メモ

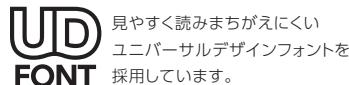
事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月下旬
 基準日 定時株主総会 3月31日
その他必要のある場合は公告いたします。

期末配当 毎年3月31日
 中間配当 毎年9月30日

株主名簿管理人及び
 特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 (電話照会先) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 TEL.0120-782-031 (フリーダイヤル)

- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
 株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払いについて
 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



nissin shoji

日新商事株式会社

東京都港区芝浦1-12-3 〒105-0023
 Daiwa 芝浦ビル

Tel. 03-3457-6251 (総務部株式担当)
 nissin-shoji.co.jp